

ランクEにおける特定空家等の判定調査状況

(件)

ランクEの件数	22
解体等対応された件数	6
未対応の件数	16
市街地・密集地に立地している件数	9
特定空家等の該当候補の件数	5
山間部に立地している件数	7
特定空家等の該当候補の件数	1

大竹市空家等集計表

空家等実態調査数		建築物の老朽度・危険度ランク				
573						
判定状況 (不可)	判定状況 (可)	A	B	C	D	E
11	562	145	152	213	30	22

判定状況(可)

対象となる建物を目視でき、判定基準での空き家の特定が可能なもの

判定状況(不可)

道・道路の荒廃により対象となる建物に近づけない場合や他の建物や塀などで対象となる建物が隠れている場合など、対象となる建物をはっきりと目視することができず、判定基準での空き家の特定は不可であるが、建物の一部やその周辺の状況から空家の可能性があるもの。

ランクA 0～19点

目立った損傷は認められない。

ランクB 20～39点

部分的な損傷はあるが、危険な損傷は認められない。

ランクC 40～99点

部分的に危険な損傷が認められる。

ランクD 100～134点

建築物全体に危険な損傷が認められ、放置すれば倒壊の危険性が高まると考えられる。

ランクE 135点以上

建築物全体に危険な損傷が激しく、倒壊の危険性が考えられる。